



新橋の赤レンガ通りを新虎通りに向かって歩くと、新橋3丁目交差点のそばに扁額(看板)が立派な「芝新橋 能登治」があります。

ご主人の七尾信昭さんは、平成10年(1998)に六代目を継ぎました。「七尾」という名字は石川県能登の七尾という地名に由来しているそうです。安政年間(1854～1860年頃)に初代七尾安兵衛が加賀藩(石川県)より上京し、現在の赤坂に「能登屋」として創業。二代目次郎吉が明治維新の後、明治16年(1883)頃に新橋に移転。次郎吉の「次」と年号の明治から「治」をかけて「能登治」と改名しました。明治5年(1872)に日本初の鉄道が新橋駅に開通し、武家地だった所が新たに烏森町や日陰町などとして栄え、新しい商売の風が吹き始めた頃です。店には明治28年(1895)の営業許可証の写しが残っており、老舗ならではの歴史が感じられます。

粋なファストフード

商人や町人の文化が栄えた江戸時代、江戸病といわれたビタミン欠乏症「脚氣」を防ぐために、ビタミンB₁を多く含む蕎麦は健康食品として庶民に流行しました。また、「おいしいものを手早く食べたい」というせっかちな江戸っ子気質を反映し、蕎麦は寿司と並んで「和製ファストフード」として好まれました。

五代目の昭和の時代は、出前専門の住み込み従業員がいた頃でもありました。昔は80軒ほどあった麻雀屋へ届けていた出前も、今では2軒ほど。代わりにメディア関係の会社が多く集まる新橋・汐留界隈への出前が増えているそうで、長時間の映像編集をする会社からの注文では、大人数の出前もあるとか。蕎麦屋の出前といえば器を高く重ねて持つ姿を想像しますが、七尾さんが見せてくれた写

真は想像以上。人の背よりも器が高く積み上げられた出前風景に驚きました。

秘伝のつゆと看板メニュー

能登治の蕎麦は、小麦粉2割と北海道の蕎麦粉8割の二八蕎麦。蕎麦屋にとって蕎麦を打つのはもちろん大切ですが、蕎麦汁も重要です。つゆは基本的に当主しか作りません。能登治のつゆの「かえし」はみりん、砂糖、醤油を使用。それを鰹出汁で合わせる基本的な江戸の蕎麦汁です。秘伝の味を守るのは当主の役目として代々引き継がれてきました。しかし、醤油などは減塩ブームもあり、時代とともにその味が変わってきています。ずっと同じ割合を続けるだけでは能登治秘伝のつゆの味は出せません。七尾さんは厳しい職人の目で味を日々守っています。「お蕎麦は無駄のない食です。生ものは基本的に使いませんし、捨てるモノがほぼありません」。

さらに蕎麦屋の定番、天ぷらにはグレープシードオイル入りのごま油を使用するなど、調味料はもちろん食材についても常に探求しています。メニューにある品はすべて店内で調理し、薬味も店で作った柚子粉を調合した独自のモノ。常に新しいメニューを考えているそうです。

看板メニューは「鴨せいり」。今の季節は桜海老の天ぷらがのった「桜おろし」が好評だそうです。器の中のピンクの海老は、桜の美しい風景を思い起こします。旬の素材を取り入れた、蕎麦のメニューにつける六代目のネーミングもまた粋です。

老舗を支える家族の力

五代目が改装した、自然光が差し込む天井の高い店内は清潔感にあふれています。壁に掲げる

日本画は季節ごとに替わり、お正月には明治、大正、昭和の京都画壇の大家、竹内栖鳳の干支の絵が飾られます。十二支すべての絵を所有しているとは、これぞ老舗の力。

子どもの頃から店の手伝いをしていたので、六代目が店を継ぐことはとても自然だったそうです。従兄弟が蕎麦を打ち、弟が卵を焼きます。一度に3人前を作る玉子焼きの達人です。そして奥様があたたかい接客をする、家族の力によるビジネススタイルです。

「時代に合わせ、人々のニーズに合わせて、新しいメニューを加えたりアレンジしたりして、自分たちの味を守っています。将来もまちの人や会社に愛され続けていければいい。続けることが大事です。お客さまがお店で過ごす時間はわずか15分かもしれませんが、『いらっしゃいませ』から『ありがとうございます』までがきちんとしていればそれでいい」という、七尾さんご家族の生き方そのものが老舗を支えているのだと感じました。

「毎日いらっしゃるお客さまから『味が違う』と言われるよう、毎日が勝負だと思って日々丁寧に仕事をしています。江戸時代以来、三代以上続く老舗蕎麦屋が集まり、技術の伝承、向上、交流を目的として集う『木鉢会』にも所属し、食材の研究や探求をしています。仕事を通して、お客さまにお蕎麦を食べて幸せになっていただきたいの一心です」とのお話が印象に残りました。

【文 ■ 早川由紀 取材 ■ 森明、早川由紀】

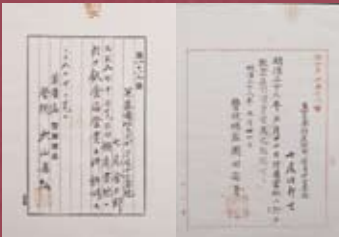
●参考 木鉢会Webサイト(<http://www.kibati-kai.net/>)

Information

芝新橋 能登治
新橋3-7-5 TEL 03-3591-3584



看板メニューの「鴨せいり」



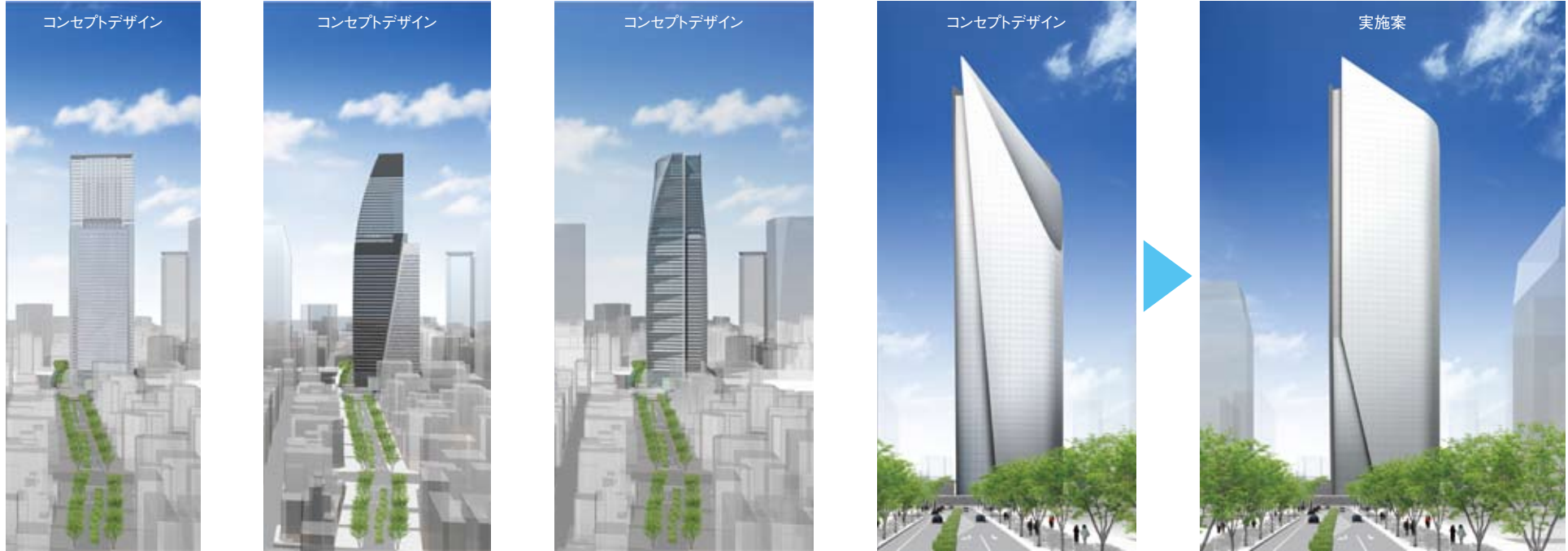
当時(明治28年)の警察からの営業許可証



昭和15年(1940)頃の献立表

東京都都市計画事業環状第二号線 新橋・虎ノ門地区道路／再開発事業

株式会社日本設計 プロジェクト管理部専任部長 荒金 透さん 聞き書き 2



平成26年(2014)5月に新橋・虎ノ門地区の施設建築物として最後に完成した虎ノ門ヒルズは、鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄筋コンクリート造)、高さ247m、地上52階、地下5階建てで、東京ミッドタウン・タワーの248mに次ぐ都内で2番目の高さがあります。その敷地面積は約17,000㎡、建築面積が約9,400㎡あり、建物の主要用途はホテル6層、住宅10層、事務所30層、店舗・カンファレンス5層、駐車場3層、機械室などの多機能施設があり、その建物と敷地内地下部に環状二号線のトンネルが貫通し、かつ、敷地内に地下トンネルの換気塔や、約6,000㎡の広場があります。

このようなスカイスクレイパー(超高層ビル)ゆえに、複雑多岐にわたる機能と役割空間、合わせて地震や台風などの災害に対する構造、それらを統合する建築デザインなど解決しなければならなかった設計課題について、(株)日本設計(開発当時執行役員)荒金 透さんにお話を伺いました。

建築家として虎ノ門ヒルズ完成のご感想は

まず、虎ノ門ヒルズの再開発事業の想定事業期間よりも予定を早めて建物を完成させることができ、関係者の皆さんのご期待に応えることができて安堵いたしました。建築設計に関わる者として、その建物が完成するまでは自分のモノのように一生懸命に努力し、モノづくりの楽しさと大変さを経験いたしました。しかし、完成すると建物を建築主にお引き渡しするので、それまでとは違った目で建物を見るようになります。

特に虎ノ門ヒルズの完成は、私にとって最愛の娘を嫁に出す父親のような気持ちになりました。

虎ノ門ヒルズの建築設計をするまでのキャリアは

昭和43年(1968)に日本で初めての超高層ビルである、地上36階、高さ147mの霞が関ビル(オフィス・商業複合施設)が千代田区霞が関に建造されました。当時は高度成長期でもありましたが、この超高層ビルの建設をテーマにした映画の影響もあり、私は建築家を志しました。建築家の仕事は人を感動させるとともに、デザインを創造する喜びを感じたからです。東京工業大学で建築学を専攻し、(株)日本設計に入社しました。

以来、設計から建設まで携わり、環状二号線虎ノ門街区を担当する前は、品川インターシティに関わっていました。この都市再開発計画品川インターシティは、これまでの一つの建物を建てるのが建築であるとする概念を超えていました。高さ約140mの3棟の建物に囲まれた全長270mにおよぶ歩行者専用空間があり、公共空間である大きなアト

リウムにつながっていました。ここでは建物を建築することに加えて、公共への貢献という考え方が強く導入されたと考えています。この経験の後、平成15年(2003)に環状二号線虎ノ門街区の設計を担当することになりました。

虎ノ門ヒルズの建築デザインには特徴がありますが、どのように思いつかれましたか

環状二号線周辺の新橋・虎ノ門地区は、低層、高密度で、地域内に道路が入り組んでいます。そこに延長1.35km、40m幅員の道路ができ、新橋側に新橋プラザビル、虎ノ門にグランスイート虎ノ門の建築計画があり、さらに1.7ha(約5,100坪)の虎ノ門ヒルズの敷地があります。しかも虎ノ門ヒルズは事務所、店舗、駐車場、住居などの多機能性を持ち、さらに地下の約1/2にわたって道路が貫通するもので、通常の建築設計の条件をはるかに超えた案件でした。

まず、建築計画としては周辺の「まち」へのつながり、広がりを考え、新虎通りの道路歩道空間の活性化もめざしました。その上で建築物としての多機能性の条件を満たしながら、かつ完成

後の経済的事業性を確保するというものでした。虎ノ門ヒルズは上層階が住宅、ホテルという比較的ボリュームの小さい空間で構成されていたので、頂部に向けて削られていくような形を考えました。そのためにデザインがいろいろと変化しましたが、できるだけ新橋および虎ノ門の双方側から見て、道路との一体感を大切にし、シンボル性を保ちつつも「まち」を分断せず、かつ回遊性を豊かにする空間となるように考えた結果、超高層ビルとしてはユニークな建築デザインとなりました。

建築設計に当たって、虎ノ門ヒルズの課題はなんでしたか

この環状二号線は昭和21年(1946)の都市計画決定から平成14年(2002)の新橋・虎ノ門地区再開発事業の事業計画決定まで非常に長かかりました。その後、完了までに建築棟が4棟案から1棟案に、さらに公共施設の変更に多岐にわたる変更が3回ありました。その設計条件に対応して基本設計、実施設計、事業計画、その他の設計などの各段階を修正し、東京都環2再開発事業担当、特定建築者森ビル(株)との調整をはじめ、建設の工事監理まで広く会社として関わっておいりましたので、虎ノ門街区事業に遅れを生じさせないようにすることが課題の一つでした。

その上に、平成23年(2011)に着工で、平成26年5月完了という約3年間の短期間の工期であることも大きな課題でした。また、工事期間中の平成23年3月11日には東日本大震災があり、復興のためにトラック需要が高まったため工事車両が不足したり、エスカレーター



未来の虎ノ門ヒルズ周辺への展望は

この虎ノ門ヒルズを含めた東京都都市計画事業環状二号新橋・虎ノ門地区道路/再開発事業とともに、これからの新虎通り、虎ノ門周辺の再開発などを踏まえると、まだ実現していない周辺の未来のまちに期待を抱いています。

の設置基準の変更などにも影響がありました。

技術的観点から言えば、虎ノ門ヒルズは地震の動きに連動して鉛直方向や水平方向に柔軟に制振するブレイキダンパー、オイルダンパーおよび座屈拘束ブレースの3種類の制振装置を配置し、高い耐震性能を持つ制振構造の超高層建築物にしました。事務所階、住居階、ホテル階で、それぞれの用途による空間の広さや機能に対応して、柱のスパンや階高を変えるビルの構造を取り入れています。コンピュータシミュレーションにより建物構造の地震振動の解析を行い、安全性を確かめています。地震の多い日本ならではの最先端の構造技術です。こうした最新の技術を活用して虎ノ門ヒルズを設計しました。

また、災害時の非常用発電には重油と都市ガスとの燃料の二重化をし、敷地内に災害用戸も整備しました。防犯などのセキュリティにも配慮し、事務所へのフラッパーゲート(入退室管理システム)の導入、住居、ホテルなどにもそれぞれ独立した動線の確保が必要でした。

【文 ■ 森 明】

●取材協力
株式会社日本設計 プロジェクト管理部専任部長
荒金 透さん
●参考文献
東京都再開発事務所 事業概要平成26年度版
東京都再開発事務所・東京都第一建設事務所編
環状第二号線新橋・虎ノ門地区再開発事業
道路事業2013
●写真提供
制振装置3国 森ビル株式会社
コンセプトデザイン5国 株式会社日本設計

長い冬が終わり、いよいよ花々の季節です。

この時期、芝公園はとっておきのお出かけスポットですね。芝に暮らす方々にはとても身近な公園ですが、ここで芝公園の豆知識を少しご紹介しましょう。

芝公園の開園は明治6年(1873)。上野恩賜公園などと並び、日本で最も古い公園の一つです。開園当初は増上寺とその境内に含まれていましたが、戦後の政教分離により増上寺と境内は除かれ、ドーナツ状の芝公園となりました。都内最大級の前方後円墳「芝丸山古墳」があることで有名な芝公園ですが、意外にも芝公園には都立と区立があるので、もともとは都立芝公園だった区域が、増上寺南側の駐車場を区が所有したことで、平成14年(2002)にその場所が「港区立芝公園」となりました。その後、災害時用の設備が整えられ、広域避難場所の役割も備えた公園に生



芝公園の桜と東京タワー



チューリップを写生する女の子

芝公園 桜マップ



まれ変わりました。約122,500㎡の都立芝公園に対し、区立芝公園の広さはほぼ1/10。しかし、四季を通して色とりどりの花々がわたしたちを楽しませてくれています。これはボランティアや地域活動を行う企



業の方々が、きめ細かくメンテナンスをしているためです。いつも可愛らしい花が絶えない、公園西側にある花壇を管理しているのが「港区民交流ガーデンクラブ」のボランティアの皆さんです。クラブの代表 伊藤 裕さんに、活動についてお話を伺いました。

「現在メンバーは36人ほど。毎週土曜日に集まって花壇の管理をしています。芝地区在住の60～80代の方が中心で、女性が7割くらいです。子育てを終えた方や仕事をリタイアされた植物好きの方が、リフレッシュなどの目的でされています。大きな花の入れ替えは年に2回。6月の『ふれ愛まつり』だ、芝地区!」と、10月の『みなと区民まつり』の中で、一般の方に『花植体験』として参加いただいています。この春に咲く

花は、昨年10月に植えられたもの。パンジー、ビオラ、ノースポール、ストックや、球根では、ムスカリ、クロッカスの花が咲く予定です。また昨年の11月には、近隣の保育園の子どもたちがチューリップの球根の植え付けを手伝ってくれたので、4月には可愛い花が花壇に並びますよ」。

花木の種類は30種ほど。見事に咲いたボタンの花を来園した方に褒めてもらったときは、とても嬉しかったとおっしゃっていました。それも害虫駆除などボランティアの皆さんによる見えない努力があってこそ、日々美しい花壇が保たれているのです。「クラブの皆さんとおしゃべりしながら作業することで、新たな交流も生まれます。なんといっても汗を流して作業した後に、みんなで飲

むビールが最高なんですよ」と、伊藤さんは照れ笑いで話してくれました。桜の花まで、もう少しの辛抱ですね。芝公園には「芝丸山古墳」「弁天池」周辺を中心に、約140本の桜の木がありますが、増上寺の境内でもたくさん美しい桜を楽しむことができます。アクアフィールド芝公園、テニスコートや野球場兼競技場と、スポーツ施設も充実している芝公園は、周辺を走るランナーも急増しています。スポーツの後は、公園内の花壇や木々に目を向け、クールダウンとリラクセスも大切ですね。

「さびしさに 何となく 来てみれば うれしげな 花ざかりかな」

名残りの寒さに、おうちで縮こまってしまうこともあります。ちょっと腰を上げ芝公園まで出かけてみれば、色鮮やかで美しい花たちに、きっと心も体も春の陽のようにポカポカになりますよ。

【文・写真 ■ 森田友子】

●取材協力
港区民交流ガーデンクラブ 代表 伊藤 裕
芝公園サービスセンター 山崎由紀
●写真提供
港区民交流ガーデンクラブ 小林 裕
芝地区地域情報誌編集委員 米原 剛

Information

区立芝公園
芝公園4-8-4
●都立公園ホームページ(公園へ行こう!)
http://www.tokyo-park.or.jp



昨年の「ふれ愛まつり」で、芝地区!で花植えをした親子連れ



港区民交流ガーデンクラブ 代表 伊藤 裕さん

区役所のサービスや施設・催しの案内はみなとコールがお答えします!

TEL03-5472-3710

年中無休
午前7時～午後11時

古くて新しい、洋菓子店 田村町木村屋

日比谷通りと外堀通りが交わる西新橋交差点そばに、赤い幌が人目を引くお店があります。「田村町木村屋」の創業は、明治33年(1900)。明治初期に日本で初めてあんパンを製造した銀座木村家から暖簾分けを許され、旧芝区田村町の地でパン製造・小売販売を始めました。その後、大正9年(1920)に喫茶部を、昭和8年(1933)に洋食部門を併設しました。洋食部門は現在「田村町木村屋三田店」として、港勤労福祉会館(芝5-18-2)内



田村町木村屋社長 大塚 浩さん

に移設され、田町駅界隈の会社員など多くの方に利用されています。また、区立南桜公園近くにはアトリエ(工場直売店)もあります。

現在の社長である大塚浩さんは四代目になります。3店舗を毎日忙しく奔走していますが、田村町本店のカウンターキッチンに入ることもあります。

店内に入ると、どこか懐かしくゆったりとした空気に包まれます。それは今や全国どこにもあるセルフサービスのコーヒチェーン店にあるような、個人が思い思いの時間と居場所を作り上げる空間とは違うものです。種類豊富なパンや色とりどりの洋菓子のほかに、サンドウィッチセットやキッシュセットなどの軽食も楽しめ、テイクアウト用のデリカもあるので、ランチタイムは新橋・虎ノ門・内幸町界隈の会社員などでいつもにぎわっています。

店内には、かつて常連だった江戸川乱歩や山田



銀座木村屋の暖簾分けの証である許可証

風太郎の寄せ書きや岡本太郎の作品が飾られ、また店の奥には、銀座木村家から屋号の使用を許可されたことを証明する認可証も掲げられています。これほど保存状態の良い認可証を保有しているお店は、銀座木村家の暖簾分けのお店で組織される「木村屋陸会」に加盟する全国の木村屋の中でも、大変少ないそうです。

田村町木村屋の一番の人気商品と言えば、40年来のロングセラーである「バナナケーキ」です。しっとりとした生地にあっさりとしたカスタードクリームの変わらないおいしさは、ファンが多いのもうなずけます。たくさんのビルが建ち並び、まち



の景色が変化していく中で、数十年ぶりに西新橋を訪れて、昔と変わらないたたずまいの田村町木村屋とバナナケーキを懐かしく思い、感激して買って帰る人もいます。最初はスポンジ生地に生クリームのおムレットケーキから始めたものが、生地やクリームに工夫を重ねた結果、現在のバナナケーキにたどり着いたそうです。

田村町木村屋のパン、洋菓子、洋食はすべて自社生産。パティシエやシェフが一つ一つ丁寧に手作りしています。どのような商品を作ってものように販売するかを、一人一人が考えながら仕事をしているそうです。老舗ではありますが、古き良き伝統を残しながらも時代のニーズの変化や技術の進化



落ちついた店内



田村町木村屋の人気商品「バナナケーキ」

など、改善すべき点は積極的にアップデートしていく。そんな古くて新しい洋菓子店であることが、これからも地元で愛され続けるお店づくりにつながっているのだと感じました。

【文 ■ 菊池 弓可】

●参考 田村町木村屋 田村町本店ホームページ

Information

田村町木村屋 田村町本店
新橋1-18-19 TEL 03-3591-1701
●ホームページ <http://www.kimuraya1900.co.jp/tamuracho.html>



芝地区 いきいきプラザ コミュニティ・カフェ編

芝地区のいきいきプラザには、それぞれにコミュニティ・カフェがあります。子どもから大人までどなたでもゆったりくつろげる交流スペースとして、皆さんの新たな出会いや発見の場となっています。また、地域の人がつながる場所となるよう、カフェコンサートや多世代交流など、さまざまなイベントを開催しています。

今回は、各施設のカフェの充実したメニューやイベントについてご紹介します。

パステー企画(65歳～)

利用登録証を発行している館から、毎月誕生日の方に「お誕生日お祝いカード」を送り、カフェでプチケーキと飲み物をサービスして誕生日をお祝いし



友人と楽しいパステー

ています。親しい友人やご家族とプチ誕生日会をされる光景も見られます。この日だけは何度かお祝いされても嬉しいものです。大切な誕生日をいきいきプラザで過ごしてみませんか。

※お祝いカードをお持ちでない方にも、誕生日の方にはサービスをしています。

いきいき朝ごはん(65歳～)

月2～4回、炊きたてのごはんに温かい味噌汁、焼き魚などが付いた手作り朝食を販売しています。三田では和食メニュー、神明・虎ノ門では和食のほか、洋食メニューもあり栄養バランスの取れた献立となっています。カフェではお客さま同士の会話が弾み、一人で来られた方も一緒にになって会



皆さん一緒に朝ごはん



懐かしい歌声喫茶(三田)

話に加わり、「朝ごはん友達」ができています。仲間と一緒にごはんを食べる楽しさ、おいしさは一味違います。「朝ごはんのおかげで“生活習慣”が良くなりました」という嬉しい声も聞かれます。

栄養バランスランチ・手作りスイーツ

また各カフェでは、ランチも販売しています。三田ではカレーライスやハヤシライスのほか、今年から開始した大人気の雑炊もあります。神明では隔週でサンドウィッチやおにぎり、ランチセットが用意されています。虎ノ門のランチは週替わりで、500kcal程度に抑え20品目以上を目安としたメニューを栄養士が考案しています。また月に1度、各道府県の名産品やご当地グルメを盛り込んだふるさとランチを用意。東京にいなから旅行気分を楽しめると好評です。さらに、旬の食材を取り入れたり、ハロウィーンやクリスマスなどのイベントに合わ



プロの演奏家によるカフェコンサート【虎ノ門】

せ、スタッフが工夫を凝らした特別ランチや手作りスイーツも提供しています。神明では美容や健康を考えた大人気のスムージー、虎ノ門は週替わりの手作りスイーツ、三田では季節限定メニューなど、各館で異なるスイーツを販売していますので一度味わってみてはいかがでしょうか。

大人気のカフェコンサート

月に2回ほど、カフェスペースでコンサートを実施しています。落ち着いた雰囲気の中でさまざまな音楽を楽しむことができます。懐かしい音楽や季節



入口

入口

入口



子どもたちと一緒に敬老の日ふれあいコンサート(神明)

を感じながらのミニ音楽会は毎回大盛況。会場が一体となって盛り上がることもできるのも、いきいきプラザならではの。

栄養講座・料理教室

そのほかにもカフェの栄養士による栄養講座や、男性のための料理教室も開かれています。皆さんもお近くの「おいしい食べ物、人との出会いが詰まった、コミュニティ・カフェ」へぜひどうぞ。

【文・写真 ■ 米原剛】

●写真・資料提供 指定管理者：潮聖会・東急コミュニティー共同事業体

Information

三田いきいきプラザ
芝4-1-17 TEL 03-3452-9421
神明いきいきプラザ(プラザ神明)
浜松町1-6-7 TEL 03-3436-2500
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)
虎ノ門1-21-10 TEL 03-3539-2941
●ホームページ <http://www.toratopia.com/>

町会・自治会トピックス

町会の方へ聞いてみました
ー虎ノ門三丁目広栄町会ー

お話を伺ったのは、虎ノ門三丁目広栄町会の会員、勝木さんご一家です。

Q：町会には、いつから加入されていますか。

美佐子さん：平成25年の春ごろからです。

Q：きっかけはなんですか。

美佐子さん：マンションの理事長をやった際に、町会費を支払っている町会が実際にどんな活動をしているのを知りたいと思い、総会に参加したのがきっかけです。

Q：町会に参加するようになって変わったことはありますか。

美佐子さん：虎ノ門三丁目が「我がまち」になったことです！まちで挨拶をして、一言二言話すが以前より大分多くなり、どんな方がこのまちに住んでいるのか見えるようになりました。子どもがまだ小さいので、いざ地震などがあった時の安心感が格段にあります。地震が起こったら、両親が職場から帰れないなんてこともあり得ますから…。

Q：のりくんはどんな町会のイベントに参加しているの？

のりくん：防災訓練とか、どじょうすくいとか！楽しかった！ご協力いただいた、虎ノ門三丁目広栄町会をはじめ勝木さんご一家の皆さん、本当にありがとうございました。

町会・自治会に関する問合せ先、加入に関する問合せ先
芝地区総合支所協働推進課協働推進係 TEL 03-3578-3126

近年、食生活や嗜好^{しこう}の変化などにより、「おいしい」は人それぞれ感じ方が多様化しています。そして食品業界においては、“なぜ? おいしいのか”を知ることが商品開発の重要な要素の一つになっています。そこで、“おいしさを数値化”し、食べた時“なぜ? おいしいと感じるのか”を解明するために、平成16年(2004)4月に浜松町に「おいしさ科学館」が開設されました。

「おいしさ科学館」が開設された当初は、食品の世界では官能評価で“おいしい”と判定することで十分であるという意見が多く、数値化の要望は少なかったそうです。以後10年、“おいしさの見える化”に取り組み、現在では食品メーカーから年間300件の分析依頼を受ける「おいしさ科学館」。山口裕章館長にお話を伺いました。

「なぜ? おいしいのか」を数値化する

「最初、食品メーカーから“おいしさを数値化”したいという要望がありました。なぜ数値化が必要なの



館長の山口裕章さん

かという、食品メーカーはコンビニエンスストアやスーパーマーケットの棚に商品を置いてもらうために、その商品がどんなふうにおいしいのかプレゼンテーションするわけです。しかし、人によっても地域によってもおいしさの基準は変わってしまうため、そんな時に共通の認識が持てる数値化したデータがあると、そこに説得力をもつことができるんです。また、食品の研究開発や流通を若い方が担当されることが多いのですが、開発した商品が彼らにとって“おいしい”と思っても、年齢による味覚の違いから上司と意見が食い違ってしまふこともあります。そうしたことを少しでもなくすために、おいしさの数値化をしてみようと思ったんです」と、発足の経緯を語る山口館長。

おいしさを可視化

「おいしさ科学館では機器分析によって、“おいしさの数値化”をしております。“味覚・匂い・食感”を数値化するための感覚センサーや物性測定装置と、顕微鏡下で成分の混ざり方を見るIRイメージングがあり、これらの機器分析により、おいしさの要素である味覚・匂い・食感を複数の商品で相対的に比較し、人の嗜好を排除し数値として表します。例えば、プリン。“硬い・軟らかい”という表現も人の嗜好によって異なりますが、そこに数値データを与えることで客観性を持たせることができます。また、カスタードクリームを構成する油の脂肪粒子径の大きさを、“あっさり”や“コクがある”ことが数値データとして見えてきます。ただし、最も重要なのは人の感覚です。おいしさを表現する時に、普通、人は“おいしい・おいしくない”という嗜好で評価しがちですが、人の嗜好は人それぞれで変わります。そこで、より客観的な分析型の官



分析室内の様子



研修スペースもあります

能評価を行うように心がけています。そこで感じた人の感覚を機器が分析できているのかどうか解析することが大事”と、数値ありきではなく、人の感覚ありきで“おいしさ”の可視化を語ってくれました。時代ともに味覚が多様化し、数値も変化していきます。その時々にも好まれる味の数値化は、これからも食品製造には必要不可欠なのだと感じました。

【文 ■ 酒井郊美】

※「おいしさ科学館」は、食品製造・販売会社、外食産業や、シェフ、パティシエなど、食を提供する方々のためのスペースです。

Information

太陽化学(株)おいしさ科学館

浜松町1-6-3

●ホームページ <http://www.taiyokagaku.com/museum/>

浮世絵「増上寺塔赤羽根」から地域を読む



増上寺塔赤羽根



「新訂江戸名所図会」より

安藤広重(歌川広重)が描いた名所江戸百景「増上寺塔赤羽根」を眺めています。江戸時代の空気を感じることができます。

増上寺の五重塔は、江戸幕府第二代將軍徳川秀忠の二十三回忌として、承応3年(1654)に建立されました。浮世絵では右側に朱で塗りあげられた塔、左側には古川に架かる「赤羽橋」と、その上には久留米藩有馬家の屋敷が見えます。

赤羽橋の賑わい

赤羽橋は延宝3年(1675)に古川に

架けられた橋。木造で幅員約8m、長さ約20mでした。

橋の北側の様子を『新訂江戸名所図会第1巻』(筑摩書房)では、「茶店多し、河岸の北側には毎朝、肴市立ちて繁昌の地なり(以下略)」と説明しています。たくさん荷物を載せた船が江戸湾の金杉から入り、金杉橋・将監橋を通してここまで来たことでしょう。

また、時代は下りますが、明治28年(1895)4月30日付の東京朝日新聞では、「弁財天の開扉5月1日より3日までの三日間、芝公園の弁財天。例の如く開扉に。諸人の参礼を許すと成り。昨

今、池辺りの藤盛んに咲出たれば、定めし賑わうことなるべし」と、この辺りのにぎわいの様子を報じています。

赤羽橋の南西には久留米藩有馬家の邸内にあった水天宮様(現在は中央区日本橋蛸殻町に移転)があり、落とし霊驗あらたかな「御守り」の授与や、安産の神様

として江戸庶民に人気がありました。毎月「5日」に水天宮の参詣を許したため、大勢の人々が参りました。江戸時代を描いた書物「江戸名所図会」の著者で神田の名主・斎藤月岑の日記を読むと、「天保6年(1835)3月5日、母水天宮様へ参る」と記されています。

赤羽河岸

赤羽橋から中之橋にかけて「赤羽河岸」があり、材木屋が数多くあったそうです。昭和60年(1985)頃、私は芝松本町(現在の芝三丁目)で大工の棟梁をしていた方からこんな話を聞きまし

た。「ここはね、材木屋がたくさんあってね、良い材料がそろっていた。良い部材を選んで自分も満足できる建物を造ったな。お客さんにも喜ばれたよ。職人にとっていい場所だったよ」。

にぎやかさは今も続く

江戸から現在まで、この赤羽橋を渡った人々は数限りないことでしょう。地域の姿は大きく変わったものの、この橋を渡ってそれぞれの目的地に歩む人々の姿は変わることはありません。浮世絵に描かれた絵を見ながら、ちょっと昔のことを考えてみませんか。



赤羽橋北側より

【文 ■ 清田和美】

●参考図書

『新訂江戸名所図会第1巻』斎藤月岑著
『芝区誌』東京市芝区役所
『東京名所図会 芝区之部』宮尾しげを監修 睦書房
『港区史 上巻』



清水軍治さん

VOICE
芝人

芝地区で音楽を通して人と人との輪をつないでいらっしゃる清水軍治さん(83歳)。港区音楽連盟の会長として、合唱団と奏者団を合わせた23団体、約600人の音楽団体をまとめているといいます。

この連盟は昭和61年(1986)に創立され6団体でスタートしました。毎年コンサートを開催し、歌う楽しさ、奏でる楽しさ、聴く楽しさを伝えています。「合唱団と楽器を組み合わせるプログラムを考えるのが大変なんです」と言いつつも、その苦勞をむしろ楽しんでいらっしやるようです。今年は発足30周年の節目となるため、“大地を歌う”をテーマとする盛大な記念コンサートに向け、現在、各団体は練習に励んでいます。

清水さんが音楽と関わるようになったのは、中学校で音楽部に入った時から。その後、大学生の頃に銀座のキャバレーでアルバイトをしていた時に、バンドのアコーディオン奏者からもう一人必要なのでやってみないかと誘われたそうです。「最初はびっくりしましたが、興味があつたので親父からお金を借り、お茶の水の楽器店へ買いに行きました。それから独学で夢中で練習して、アコーディオンの魅力にはまってしまいました」。

以前、港区役所そばの自宅ビル1階

音楽は生涯の友であり、
元気の源です

で息子さんが飲食店を経営しており、週1回、昼に店先でアコーディオンで童謡を奏でていました。道行く人たちは思わず足を止めて、懐かしくも心に響く旋律に聴きいていたそうです。6年前に店を閉じることになったため、その後は2階のスタジオで月3回「童謡愛好会」を開いています。また、「港区童謡唱歌の会」を主宰し、月1回、新橋の区立生涯学習センター(ばるーん)で、アコーディオンとピアノの伴奏による童謡の指導もされています。

「昔の歌には奥行きがありますね。美しい日本語から情景が目に見えられます。今の子どもたちは歌詞が直接的でテンポが速く、リズムのある歌でないといふので、情緒が薄れてきたことを嘆いていらっしやいました。昔から歌い続けてきた素晴らしい童謡を後世に歌い継いでいきたい、との熱い思いを感じました。

平成12年(2000)に公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団(Kissポート財団)で「みなと第九を歌う会」が結成されましたが、昨年11月に清水さんが率いる「みなとシティコーラス」が初めて参加しました。一流のソリスト、指揮者との共演に、



昨年9月の「長寿を祝う会」の様子



自宅スタジオでの音楽教室



ばるーんで行われている「港区童謡唱歌の会」の教室風景

250人のメンバーたちは心を込めてベートーベンの「歓喜の歌」を高らかに歌い上げ、感無量だったそうです。この時清水さんはフロアマネージャーとして奔走されました。

音楽連盟の会長職以外にも清水さんの活躍は多岐にわたります。その一つに、平成20年(2008)に母校である区立芝小学校的の開校130周年を記念して、校歌を作曲されています。作詞は児童たちが書いた「大好き芝小」。ぬくもりが感じられる詞と音律のハーモニーが伝わってきます。

また、港区ユネスコ協会の理事として各国の大使、政治家、官僚、政府高官などを招いて、ミーティングや懇親パーティーを開催されているそうです。ほかにも旧区立港中学校PTA会長や、港区と大田区の高齢者施設の慰問など、忙しい毎日を過ごされています。

今後、浜松町駅西口前に約600人収容の区立文化芸術ホールの建設が予定されています。清水さんは完成を見届けたら引退を考えていらっしやるそうですが、まだまだ美しいアコーディオンの音色とコーラスを聞かせていただきたいですね。

【文 ■ 千葉みな子 写真 ■ 米原剛】

芝にある風景

区立イタリア公園

前号で紹介した旧新橋停車場からほど近い場所にある区立イタリア公園。私が幼少の頃は、旧新橋停車場から区立イタリア公園のあるこの場所は、貨物専用の汐留駅として活用されていました。貨物列車の停車場もあり、たくさんの線路と貨物列車が並んでいました。敷地内に入ることはできませんでしたが、貨物を運ぶさまざまな列車が行き交う風景は、今でも心に残っています。

現在この場所は、「日本におけるイタリア2001年」を記念してイタリアから寄贈された公園となっており、トスカーナで制作されたミロのヴィーナス像などの彫刻や柱が配された、イタリア式回遊庭園が広がります。区内で洋風庭園をスケッチするにはこの公園がおすすめです。特に春は、新緑の木々と色とりどりの花々が華やか

に彩られ、春の陽気の中で花を愛でたり、点在する彫刻を鑑賞するなど、スケッチはもちろん、散歩だけでもとても気分よく過ごせます。訪れる人もそれほど多くなく、ゆったりと過ごせる穴場スポットでもあります。

今回は、区立イタリア公園で春のスケッチを楽しみましたが、次回は初夏にバラが咲き誇る公園も描いてみたいものです。



●大野正晴

昭和26年(1951)生まれ。新橋で生まれ育ちましたので、特に港区、芝地区には愛着を持っています。この地域は歴史的名跡が多く、ニュースポットもいろいろとあります。心に感じた風景を今後も描き続けたいと思っています。36年間、新橋にあるタカトク金物(株)に勤務。



絵・文 大野正晴

お知らせ

平成27年度 港区民交通傷害保険に加入しましょう

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、交通事故でけがをしたときに、入院や通院治療日数と通院治療期間に応じて保険金をお支払いする保険制度です。

また、港区民交通傷害保険に「自転車賠償責任プラン」を組み合わせたコースも募集します。自転車事故でも被害の大きさにより多額の損害賠償金を支払わなくてはならない場合もあります。いざというときのために「自転車賠償責任プラン」も併せて加入されることをおすすめします。

詳しくは、各総合支所で配布するパンフレットまたは港区ホームページをご覧ください。

※自転車賠償責任プランのみに加入することはできません。

加入対象者 平成27年4月1日時点で港区に住所がある人

保険期間 平成27年4月1日午前0時～平成28年3月31日午後12時

加入方法 ◎**個人で加入される場合**

各総合支所協働推進課協働推進係または区内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局)で配布する加入申込書に記入のうえ、保険料を添えてお申し込みください。

◎**10人以上の団体で加入される場合**

各総合支所協働推進課協働推進係で、団体加入申込書に記入のうえ、人数分の保険料を添えてお申し込みください。

加入申込期間 2月2日(月)～3月31日(火)

※金融機関での申し込みは3月23日(月)までです。

※申込期間外の加入はできませんのでご注意ください。

コースの種類と保険料 表の6つのコースから一つを選んで加入してください。

※複数のコースへの加入はできません。

コース	補償内容	年額保険料	最高保険金額
A	区民交通傷害Aコース	800円	150万円
B	区民交通傷害Bコース	1,400円	350万円
C	区民交通傷害Cコース	2,600円	600万円
AJ	区民交通傷害Aコース +自転車賠償プラン	1,100円	150万円(交通傷害)+ 1,000万円(自転車賠償)
BJ	区民交通傷害Bコース +自転車賠償プラン	1,700円	350万円(交通傷害)+ 1,000万円(自転車賠償)
CJ	区民交通傷害Cコース +自転車賠償プラン	2,900円	600万円(交通傷害)+ 1,000万円(自転車賠償)

引受保険会社	損害保険ジャパン日本興亜(株)東京公務開発部営業開発課 千代田区霞が関3-7-3 TEL 03-3593-6506
--------	--

問合せ先

芝地区総合支所協働推進課協働推進係
TEL 03-3578-3121

(SJNK14-13981、
平成27年1月6日作成)

港区暮らしのガイド2014の訂正について

平成26年11月に発行した、「港区暮らしのガイド2014」の掲載記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。皆さまにはご迷惑をおかけし、大変申し訳ありません。

対象記事 ①子育てカレンダー(P56・57) ②手話通訳・要約筆記の派遣(P119)

正		
①	相談・教室	ブックスタート(1歳の誕生日まで)
	予防接種	BCG(生後1歳未満)
		4種混合
		小児用肺炎球菌ワクチン(生後2カ月～5歳未満)
		麻しん・風しん(1期)
②	申し込み・問い合わせ	保健予防課保健予防係
		新宿2-15-27 第3ヒカリビル5階

問合せ先

区長室広報係
TEL 03-3578-2036

詳しくは区ホームページをご覧ください。
<http://www.city.minato.tokyo.jp>



お知らせ

2月2日①から 早朝から深夜まで お近くのコンビニエンスストアで 証明書が取れるようになりました

区では、各種証明書を全国のコンビニエンスストア(コンビニ)で取得できるサービスを開始しました。コンビニ従業員を介する必要はなく、証明書用紙にも偽造・改ざん防止対策が施されており、安心して利用できます。コンビニ交付を利用するには、住民基本台帳カード(住基カード)と暗証番号の登録が必要になりますので、利用を希望する人は各総合支所で手続きをしてください。

コンビニ交付開始	2月2日(月)
利用時間	午前6時30分から午後11時 (年末年始およびメンテナンス時を除く)
利用できる店舗	区内約200店舗、全国約4万4,200店舗のコンビニ(セブンイレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマート、コミュニティ・ストア) ※証明書が発行できるマルチコピー機を設置している店舗に限る。
取得できる証明書	●住民票の写し(現在のもの) ●印鑑登録証明書 ●戸籍(全部・個人)事項証明書(本籍地が港区の場合のみ) ●戸籍の附票の写し(全部・一部)(現在のもの、本籍地が港区の場合のみ) ●特別区民税・都民税課税証明書(直近3年分) ●特別区民税・都民税納税証明書(直近3年分)

利用方法

- 総合支所の窓口で住基カードを取得し、コンビニ交付機能の登録をする。
- 2 コンビニ交付機能を登録した住基カードをコンビニに持参する。
- 3 コンビニに設置されているマルチコピー機を自分で操作する。
- 4 案内画面に従って必要な証明書を選択後、4桁の暗証番号を入力する。
- 5 交付手数料を支払うと証明書が発行される。

コンビニ交付を希望する人に、住基カードを無料で交付しています

コンビニ交付を希望する人には住基カードを無料で交付しています(通常は500円かかります)。また、即日交付も行っています(事前予約が必要となり、即日交付の要件もありますので、必ずお問い合わせください)。なお、住基カードは写真付きで、公的な身分証明書としても使用できます。写真の撮影サービスも無料で行っていますので、この機会に、ぜひ住基カードの取得と暗証番号の登録をお願いします。

※既に住基カードをお持ちの人も、コンビニ交付を利用するためには事前の利用登録が必要です。お問い合わせください。住基カードの申請やコンビニ交付の利用登録について詳しくは、お近くの総合支所へお問い合わせください。

問合せ先

各総合支所区民課窓口サービス係(台場分室は除く)

芝地区:TEL 03-3578-3141 / 麻布地区:TEL 03-5114-8821

赤坂地区:TEL 03-5413-7012 / 高輪地区:TEL 03-5421-7612

芝浦港南地区:TEL 03-6400-0021

お知らせ

個人住民税の寄附金税額控除を受けるには 確定申告が必要です

個人住民税の寄附金税額控除を受けるためには、確定申告書の「住民税に関する事項」欄に寄附先および寄附金額等を記載し、領収書等を添付の上、税務署に申告する必要があります(所得税が課税されずに個人住民税のみが課税される方は、お住まいの区市町村に住民税申告を行ってください)。

詳しくは、ホームページをご覧ください。下記へお問い合わせください。

問合せ先

東京都主税局課税部課税指導課 TEL 03-5388-2969
ホームページ <http://www.tax.metro.tokyo.jp/common/index.html>

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
菊池弓可 / 清田和美 / 桑原庸嘉子 / 齋藤恵里花 /
酒井郊美 / 作田宗子 / 柴崎郁子 / 柴崎賢一 /
高井志保 / 千葉みな子 / 早川由紀 / 日沖剛 /
町田明夫 / 森明 / 森田友子 / 湯原信一 / 米原剛
(五十音順 敬称略)

●今後の発行スケジュールは次の通りです。
H27.6.1発行(第35号)、H27.9.1発行(第36号)
H27.12.1発行(第37号)、H28.3.1発行(第38号)

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

芝地区地域情報誌編集委員を募集しています!

芝地区の話題を発掘、取材し、執筆していただく地域情報誌編集委員(記者)を募集します。

- 対象** 芝地区管内に在住、在勤、在学で取材に携わりたい人
- 内容** 地域の話の収集、取材、写真撮影、原稿作成など(年4回発行予定)。発行予定ごとに平日の昼夜間に2時間程度の取材と、平日夜間に2回程度編集会議への参加があります。
- 申込み** 氏名、住所(在勤、在学の方は所在地)、連絡先、在住・在勤・在学の区別を明記の上、下記の芝地区総合支所協働推進課まで、FAXまたは郵送でお申し込みください。
- その他** 報酬、交通費等の支給はありません。

